

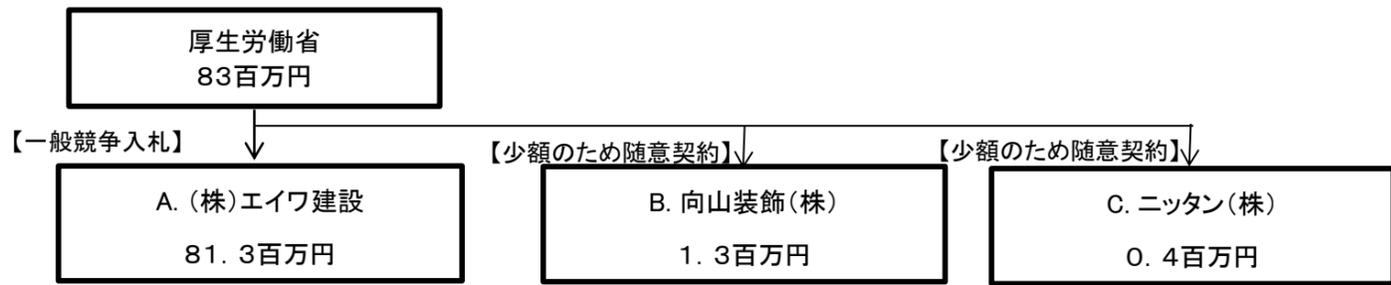
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	中央合同庁舎第5号館施設整備等事業 ① 厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の排水施設改修工事経費 ② 厚生労働省電話交換設備更新工事 ③ 中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業 ④ 厚生労働省弥生寮宿舎擁壁改修等工事経費 ⑤ 自家発電設備改修工事			担当部局	大臣官房(会計課)		作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	①③④大臣官房会計課福利厚生室 ②⑤大臣官房会計課管理室		岡森 晴喜 上島 隆	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-			
根拠法令(具体的な条項も記載)	①④国家公務員宿舎法第5条			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①小川宿舎及び鶴見宿舎について、排水施設の改修工事を行う。 ②平成8年に設置された厚生労働省の電話交換設備については、耐用年数が過ぎており、既に生産を終了した交換部品があるなど、老朽化した設備の維持が困難な状況となっている。このまま現在の交換設備を使用し続けると、メンテナンスや修繕が不可能となり、日常の業務に大きな支障がでることから、設備の更新工事を行う。 ③待機児童解消加速化プランの推進及び仕事と子育て等を両立できる環境の整備を図る観点から、中央合同庁舎第5号館内に保育所を設置する。 ④弥生寮宿舎の擁壁改修と、それに必要となる建物解体工事を行う。 ⑤災害等の発生により電力会社からの電力供給が停止しても、業務が継続できるよう中央合同庁舎第5号館には、2台の自家発電設備が設置されている。2台のうち1台の自家発電設備は設置後29年が経ち老朽化しているため、これに替わる新しい自家発電設備を設置する。もう1台の自家発電設備は、設置後十数年が経過しているため、全面的なオーバーホール(改修)を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①小川宿舎及び鶴見宿舎の排水施設について、耐用年数を経過していることから、その改修工事を行う。 ②厚生労働省の電話交換設備については、設置後17年を経過し、既に生産を終了した交換部品があるなど、このまま現在の交換設備を使用し続けると、メンテナンスや修繕が不可能となり、故障の種類によっては対応できない場合もあるため、設備の更新工事を行う。 ③中央合同庁舎第5号館内に保育所を設置するために必要となる庁舎内の改修工事等を行う。 ④平成23年4月30日に廃止した弥生寮宿舎については、擁壁が老朽化による倒壊の危険性があるため、改修を行うとともに、当該改修に必要な建物の解体、撤去を行うものである。(平成24年度に弥生寮宿舎の北側擁壁改修工事を予算化したが、入札が不調に終わったことから実施できなかったこと、さらに、財務省からの追加指摘もあったことから、これを含めて、平成27年度に実施するもの。) ⑤中央合同庁舎第5号館の自家発電設備は、設置後29年が経過し、当初の容量は2000kVAであったが、情報通信技術の発達により、当初と電気の使われ方が変化し、現在必要な容量が3000kVAになっている。そのため、3000kVAの自家発電設備を新設し、老朽化したNo1、2の自家発電設備を撤去して、受電設備の更新スペースを確保する。No3の自家発電設備は、設置後15年以上が経過しており、精密点検(E点検)、シーケンサ及び蓄電池盤の更新等が必要な状態にあるため、オーバーホールを行う。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	484	176	201		
		翌年度へ繰越し	▲484	▲176	▲201			
		予備費等	-	-	-	-		
		計	126	664	267	480	215	
	執行額	91	632	258				
執行率(%)	72%	95%	97%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	庁舎等の調査や改修工事等を工期内に全て完了	工事の完了件数	成果実績	件	1	3	2	
			目標値	件	4	4	4	
			達成度	%	25%	75%	50%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	庁舎等の調査や改修工事等の着手件数	活動実績	件	2	4	3		
		当初見込み	件	4	4	4		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X:「当該年度の執行額」 Y:「当該年度の完了件数」	単位当たりコスト	百万円	91	211	129	160	
		計算式	X/Y	91/1	632/3	258/2	480/3	
内訳(単位:百万円) 平成27・28年度予算	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	279	215	平成27年度限りの事業の終了に伴う減(厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の排水施設改修工事経費、厚生労働省電話交換設備更新工事)				
	計	279	215					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要であり、公益に資する事業であるため、国民や社会のニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が所有する庁舎等の改修工事等であるため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要とされる優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により調達を実施しており、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札により調達を実施しており、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	整備計画に基づき、真に必要な費目に限定して支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	一般競争入札により最小限のコストで事業を実施した。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	成果実績はほぼ見込どおり推移しているが、一部工事について、計画変更による繰越を行った。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績はほぼ見込どおり推移している。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された施設については、国の庁舎等の施設として活用されている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度において、入札不調により、計画を変更し、工事の進捗に遅れが生じたため繰越を行っており、成果実績が当初見込みを下回った。 平成24、25、26年度においては、工事の進行段階に把握していない障害物等が発見され、工事の進捗に遅れが生じたため繰越を行っており、成果実績が当初見込みを下回った。 一般競争入札による競争性のある調達を実施しており、最小限のコストで事業を実施できた。 			
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 工事の進捗に遅れが生じないよう、事前の調査やスケジュール管理等を適切に実施し、当初見込みに沿った執行を達成できるように努める。 今後についても、引き続き一般競争入札を実施し、可能な限り低コストで事業を行えるよう努める。 			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、引き続き、必要な予算を確保しつつ、一般競争入札等の競争性の高い契約方式による調達を実施し、最小限のコストで事業を実施すること。また、調達スケジュール等の進捗管理を徹底し、工事が遅延しないよう努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
⑤ 自家発電設備改修工事については、平成24年度から平成25年度にかけて2箇年の国庫債務負担行為を組んで契約している。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	20	平成23年度	20	平成24年度	20
平成25年度	931	平成26年度	930		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

③中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業



⑤ 自家発電設備改修工事



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)エイワ建設			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	81.3			
計		81.3	計		0
B.向山装飾(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	1.3			
計		1.3	計		0
C.ニッタン(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	0.4			
計		0.4	計		0
D.(株)ユアテック			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	自家発電設備改修工事	176			
計		176	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エイワ建設	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	813	4	91.4%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	向山装飾(株)	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	1.3	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニッタン(株)	中央合同庁舎第5号館保育施設整備事業	0.4	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユアテック	自家発電設備改修工事(国庫債務負担行為H24-H25)	176	-	-